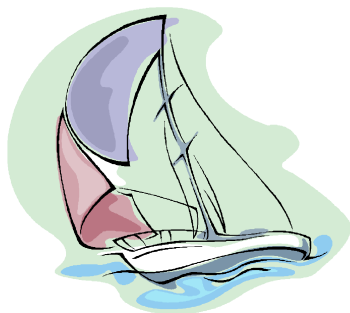


### ATTENTION

## 「ヨットで行くか、大型客船で行くか。」そこが人生の分かれ道



上の絵を見て、何を感じますか。ずいぶん乗り心地が違うと思うでしょう。同じ航海でも、まるで別世界です。ヨットは自力で時には荒海の中を行こうとする一方、料金を払って乗船する大型客船は嵐が来てもびくともせずに航海します。どちらが安心して過ごせるでしょう。当然ながら大型客船です。ところで、これを資産運用に当てはめると、ヨットに乗っている人は自力でやる人で、大型客船に乗っている人は専門家にアドバイスを受けている人といっただけでしょう。どちらがしっかりと資産運用ができるでしょう。それは明らかです。料金を払って乗る大型客船です。しかしながら、現実には99.9%の人がヨットに乗って資産運用をしています。また大型客船でも底に穴が開いていたり、高額な乗船料を払わされています。最新性能と万全の運行管理で、安心して過ごしながら目的地に到着する航海をしなければなりません。そして資産運用は、人生と同じように長い時間をかけなければ結果は出ませんから、できるだけ早く、最初から正しい資産運用をする必要があります。私ども、びとうファイナンシャルサービスは、人生という1回限りの長い航海を安心して続けられるように、大型客船となって資産運用を確実に成功に導きます。

### OPINION

#### 新興国通貨大幅下落で、通貨選択型投信が急落

このところ新興国通貨の下落が目立っています。5月からブラジルレアルが-19%、南アフリカランド、トルコリラは各々-15%となっています。これは米国の量的緩和の早期縮小観測が台頭していること、自国内で景気の不透明感とインフレ圧力が高まり、投資資金が国外に流出する動きが出ていることからです。3国とも経常赤字で、利上げや為替介入など景気にマイナス作用を及ぼす通貨防衛策を迫られ、苦しい対応を余儀なくされています。

この新興国通貨下落の影響が通貨選択型外債投資信託に大きく出ていることは、看過できません。ブラジルレアル型外債投資信託の基準価格(配当込み)は5月から約20%下落、南アフリカランド型、トルコリラ型が約18%下落しています。

これら新興国や資源国の通貨選択型投資信託は、ここ数年個人が大量に購入しています。これまで新興国通貨のリスクの高さはしばしば指摘されてきましたが、ここに来てそれが顕在化しつつあります。米ドルやユーロと違い、新興国や資源国の通貨価値は、先進国の通貨政策や経済など外部要因の影響を受けやすく、自国通貨の為替レートがコントロール不能になることもあります。安易に金利の高さだけに目を向けずに、新興国通貨のリスクの高さを十分に認識する必要があります。

### MARKET

|      | (8月末)      | (7月末比)    |
|------|------------|-----------|
| 日経平均 | 13388.86円  | -279.46円  |
| NYダウ | 14810.31ドル | -689.23ドル |
| 米ドル  | 98.161円    | +0.281円   |

#### 今月の言葉:

心を養うは寡欲より善きはなし。  
(孟子・盡心下)

-心を養うには欲を減らすのが一番だ。

## 国主導の相次ぐ官民ファンド設立の行く末は見えている。

今年に入り、国が主導する官民ファンドの設立が相次いでいます。「農林漁業成長産業化支援機構」(所管・農水省、最大資金量2000億円)、「環境不動産普及促進機構」(国交省・環境省、350億円)、「日本政策投資銀行・競争力強化ファンド」(財務省、3000億円)の3ファンドが既にスタートしています。今秋以降に計画されている「クールジャパン推進機構」(所管・経産省、最大資金量・600億円)、民間資金等活用事業推進機構(内閣府、3200億円)、「官民イノベーションプログラム」(文部科学省、1000億円)の3ファンドを含め、総資金量は4兆円に及ぶとのこと。

官民ファンドの相次ぐ設立に、民業圧迫という見方もあります。確かに全体で1兆円に満たない民間ファンドは「余計なことをしてくれるな」というのが、偽らざる思いでしょう。しかし、ここにはもっと日本にとって根の深い病巣が今だにあることを見逃してはいけません。いくつかその病巣を上げてみましょう。

1. 役人は「国が動かなければ経済が動かない」という上から目線の妄想を依然として持ち続けている。
2. 役人の本能的な「縄張り作り」で、自分たちの将来の天下り先を確保しようとする。

3. 役人の悪い癖で「他がやるなら、うちもやらなければ」という村社会の発想が連綿として存在する。
4. 予算獲得の使い先づくりに励み「他がやるならうちも通る」という浅はかな考え方を持っている。
5. 資金を投入してうまく行かなくても責任は取らないで、民間に転嫁したり環境変化のせいにする。

この官民ファンドの投資成果が上がるかという、大いに疑問です。そもそも役人に投資の目利きができるか、設置ありきから来る投資採算意識の欠如、政府に言われたから拠出したという民間の低い動機、投資先に政治家が絡む余地、役所と民間の馴れ合い的關係、ガバナンス欠如の懸念など多くの不安要因があります。

過去にも第3セクターの破綻、「グリーンピア」「私の仕事館」など箱ものの叩き売り、ふるさと創生1億円事業の無駄使いなど、失敗には枚挙に暇がありません。このようになる懸念が、国民の税金が投入される官民ファンドにも付きまといます。これら官民ファンドの投資パフォーマンスがはかばかしくないことは、既に見えている気がします。「民間にできることは民間に」「役所は民業を邪魔するな」「自らの陣地作りより民間を活性化する規制緩和」ということが大原則ではないでしょうか。

## SEMINAR

## 第30回『退職金や金融資産をしっかりと運用するためのセミナー』

### -こうすればしっかりお金を増やすことができる-

大切な資産運用で、本当のことを知るのはいへんむずかしくなっています。いい情報も危ない情報もあふれ、手数料収入を何とか取り込もうとしてリスクの高い金融商品を売り込む金融機関や証券会社、FX会社、商品先物会社の営業活動はますます激しくなっています。思わぬリスクの高い商品を勧められ、取り返しの被ることも珍しくありません。

- なぜ日本だけに投資してはダメか、海外投資の必要性和メリット。
- 本当に正しい資産運用法の実践法-やり方によって人生の分岐点にも。
- 証券会社や銀行がいう通りにしては、必ず失敗する。
- よい金融商品とはどういうものか。
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか。
- NISAの賢い活用法

詳細はホームページをご覧ください。

30年以上の経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持つ、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザー尾藤峰男だから語れる「セカンドライフを豊かに過ごすための資産運用法」をお話します！

日時 : 2013年9月29日(日)15:00~17:00

場所 : TKP東京駅丸の内会議室ミーティングルームC(日比谷帝劇ビル地下1階)

<http://tkpteigeki.net/access/index.shtml> (最寄り駅:有楽町・日比谷駅)

講師 : 尾藤 峰男 びとうファイナンシャルサービス代表取締役

参加費: 1,000円(当日支払い)

申込み方法 : メールまたは電話にて「9月29日セミナー参加希望」として、お名前とご連絡先をお知らせください。

E-メール: [info@bfsc.jp](mailto:info@bfsc.jp) Tel: 03-6721-8386

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

毎週3分で、資産運用の成功へ導くメルマガ!

書評ブログ

<http://www.bfsc.jp>

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

<http://blog.goo.ne.jp/dreamct-1>

発行者: びとうファイナンシャルサービス株式会社

代表取締役 尾藤峰男

電話: 03-6721-8386

携帯: 090-4934-3121

FAX: 050-3156-1072

電子メール: [info@bfsc.jp](mailto:info@bfsc.jp)